

令和5年11月10日
香川森林管理事務所

「令和5年度ニホンジカ獣害対策現地検討会」の概要について

1 開催日時

令和5年11月10日 10:00～12:00

2 開催場所

香川森林管理事務所（高松市上之町二丁目8-26）

3 参加者

市町村：5名（高松市1・観音寺市2・東かがわ市1・三木町1）

香川県：4名

森林組合4名（香川県森林組合連合会2・香川東部森林組合2）

一般財団法人 日垂ふるさと振興財団：1名

森林整備センター徳島水源林整備事務所：2名

中四国地方環境事務所：3名

森林技術・支援センター：1名

4 目的

これまで比較的ニホンジカによる森林被害の少なかった香川県（島しょ部を除く）においても、東部の県境脊梁部を中心にシカの生息数が増加しており、近い将来には香川県内全域に被害拡大することが危惧される。一方各市町では捕獲従事者や実務担当者不足が課題となっていることから、四国森林管理局で開発したシカ捕獲用わな「こじゃんと1号・2号」の設置・組立て実演やニホンジカの捕獲率を向上させるための工夫等について紹介することで各市町における獣害対策に係る人材育成の一助となるべく民有林支援の一環として現地検討会を開催することとした。



5 概要

(1) ニホンジカの捕獲について概要（資料）の説明

① 四国局におけるニホンジカによる被害に対する取り組み

- ② 四国局管内のニホンジカによる被害と対策
- ③ 香川森林管理事務所におけるニホンジカの頭数調整
- ④ 囲いワナによる捕獲
- ⑤ ほかパト（LPWA通信）による囲いワナの見廻り
- ⑥ トレイルカメラ（センサーカメラ）による行動監視

（2）実演講習

囲いワナの組み立て設置及び技術指導等

（3）意見交換

6 意見交換会での意見（質問）

Q：「単木保護具」と「防護柵」について、どちらを選択しているのか。

A：まずは「防護柵」の設置を検討してから、支柱の設置できない箇所等について「単木保護」を選択している。

Q：囲いワナの設置に免許は必要ないのか。

A：囲い罠による有害鳥獣の捕獲は狩猟免許が不要。ただし「ハコ罠」は狩猟免許が必要となる。

Q：囲いワナでニホンジカの捕獲効率を上げるために注意すべきことは何か。

A：「けもの道」周辺に囲いワナを設置すること。設置してからしばらくの間はワナの仕掛けを外し誘引餌をまくこと。警戒心が解けてからワナの仕掛けを設置すると捕獲効率があがる。

Q：「こじゃんと1号」と「こじゃんと2号」の違いは何か。

A：ワナの仕組みは同じ。「こじゃんと2号」が完成した後に軽量で材料費が安い「こじゃんと1号」が作成された。

その他に、「シカによる剥皮はなぜ発生するのか。」、「シカを捕獲した後、止めさしは職員が行うのか。」、「設置する「囲いワナ」の台数は計画を立てているのか。」との質問や「雌・雄・幼獣、それぞれで捕獲しやすい方法や好む餌等のデータがあれば共有していただきたい。」との要望があった。

また、香川所から、「科学的根拠は分からないが、「ヘイキューブ」に醤油を振りかけたものを誘引餌として使用し始めてから捕獲頭数が増えた感じがするので今後検証していきたい。」と発言に対して環境省から「シカの雌は塩分を好むので、醤油を使うのは良い試みだと思う。」との意見があった。

7 備考

現地検討会は兼広国有林 11 林班い小班（かがわ市西山）で開催する予定であったが、当日の天候不順により香川森林管理事務所に変更して開催した。

以上

令和5年度

ニホンジカ獣害対策現地検討会



場所：香川森林管理事務所（高松市上之町2-8-26）

日時 令和5年11月10日（金）10:00～

四国森林管理局 香川森林管理事務所

ニホンジカ獣害対策現地検討会（実演会）

検討会日程

時間	項目	担当	備考
10:00 ～ 10:05	開会 香川森林管理事務所長挨拶		
10:05 ～ 10:55	概要説明 香川森林管理事務所における ニホンジカ捕獲について	森林技術指導官 福栄・高松首席森林官	
10:55 ～ 11:40	実演講習 囲いワナの組み立て設置及び技術指導等	森林技術指導官 福栄・高松首席森林官	
11:40 ～ 11:55	意見交換 意見交換会	森林技術指導官	
11:55 ～ 12:00	閉会にあたって 森林技術・支援センター所長挨拶		
12:00	解散		

○ ニホンジカによる被害に対する取り組み

四国森林管理局におけるニホンジカ被害対策について、新植地では平成3年から、三嶺や黒尊山系などの天然林は平成18年から防護ネット柵やヘキサチューブによる単木保護等の被害対策を実施していますが被害は拡大の一途を辿っており、深刻化する被害の軽減させるため、平成23年度からは国有林内でのワナによる捕獲を実施するとともに、森林地域で捕獲効率を向上させるための技術開発に取り組んでいます。

また、技術開発成果の民有林へ普及、民官連携捕獲、捕獲に係る協定の締結や関係機関・団体との定期的な連絡会の開催等民有林と連携した捕獲対策に取り組んでいます。

四国森林管理局管内国有林のニホンジカ捕獲実績（R5.9月時点）

	R1	R2	R3	R4	R5	計
香川所	21	31	22	32	46	152
徳島署	11	40	65	74	25	215
愛媛署	2	15	24	30	0	71
四万十署	4	49	48	50	3	154
嶺北署	104	108	194	174	96	676
高知中部署	95	113	101	91	58	458
安芸署	268	420	250	154	45	1,137
森林技術支援センター	4	1			1	6
森林ふれあい推進センター	31	35	38	22	0	126
四国局	64	54	38	44	12	212
計	604	866	780	671	286	3,207

香川県内のニホンジカ捕獲実績（R2年度末時点）

年度 区域	年度							計	備考
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2		
本土部	32	75	127	187	265	302	345	1,333	
小豆島	856	1,029	1,400	1,468	1,709	1,358	1,264	9,084	
香川県全域	888	1,104	1,527	1,655	1,974	1,660	1,609	10,417	

※ 香川県みどり保全課資料「ニホンジカ第二種特定鳥獣計画第3期計画」より

香川県全域の推定生息頭数 3,533 頭（本土部）

※ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画 第3期計画（令和5年7月）

徳島県全域の推定生息頭数 68,513 頭

※第二種特定鳥獣管理計画 第5期徳島県ニホンジカ適正管理計画（令和4年3月）

愛媛県全域の推定生息頭数 30,564 頭

※第二種特定鳥獣管理計画 第4次愛媛県ニホンジカ適正管理計画（令和4年3月）

高知県全域の推定生息頭数 74,747 頭

※第5期 高知県第二種特定鳥獣（ニホンジカ）管理計画（令和4年4月）

○ ニホンジカによる被害と対策

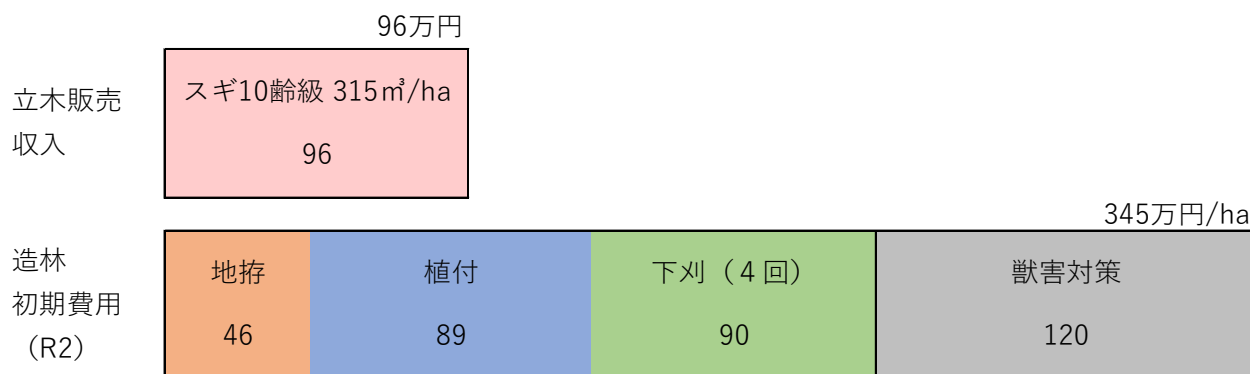
食害・樹皮剥ぎ



防護対策



立木販売収入と造林初期費用の比較（四国局）



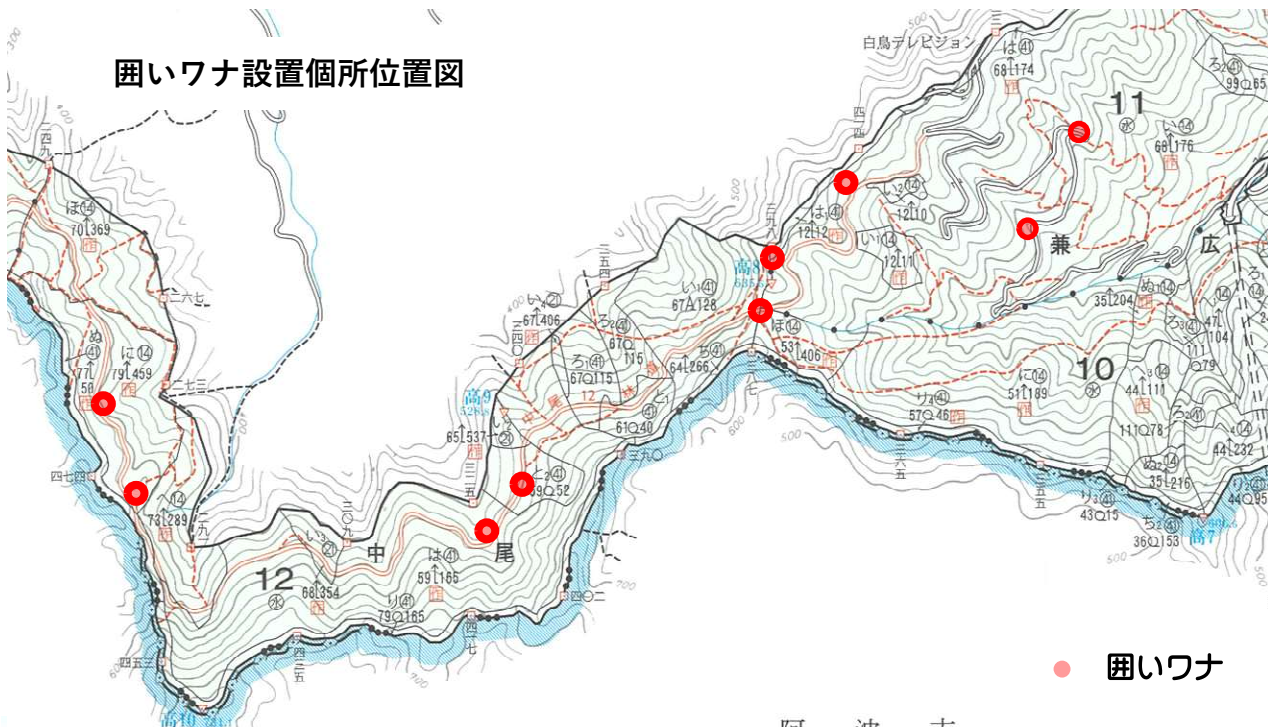
造林初期費用：2,250千円

※ シカ防護柵：100m当たり18万円
 ※ 単木保護具：100本当たり8万円

○ 香川森林管理事務所におけるニホンジカの頭数調整

香川県東部の徳島県境付近でニホンジカの子撃や樹木の皮剥ぎが発生したことから、平成29年度より兼広国有林及び中尾国有林を主体に四国森林管理局が開発した小型囲いワナ「こじゃんと1号・2号」を設置してシカ捕獲事業を開始。現在は囲いわな9基による捕獲とセンサーカメラによる出没状況の定点監視を実施。

令和元年度からは、ワナの見廻り作業を軽減するため長距離無線式捕獲パトロールシステム（ほかパト）を導入。



四国森林管理局のニホンジカ捕獲実績（R5年9月末時点）

区域	年度							計	備考
	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5		
香川所管内	19	28	21	31	22	32	46	199	
四国局内全域	439	518	604	866	780	671	286	4,164	

○ 罠いワナによる捕獲



こじゃんと1号

重量：58kg

縦：130cm

横：80cm

奥行：180cm

開口部：75cm

※軽四トラックであれば組み立てたまま移動可能



こじゃんと2号

重量：102kg

縦：160cm

横：110cm

奥行：220cm

開口部：110cm

※1トントラックであれば組み立てたまま移動可能

○ 誘因餌

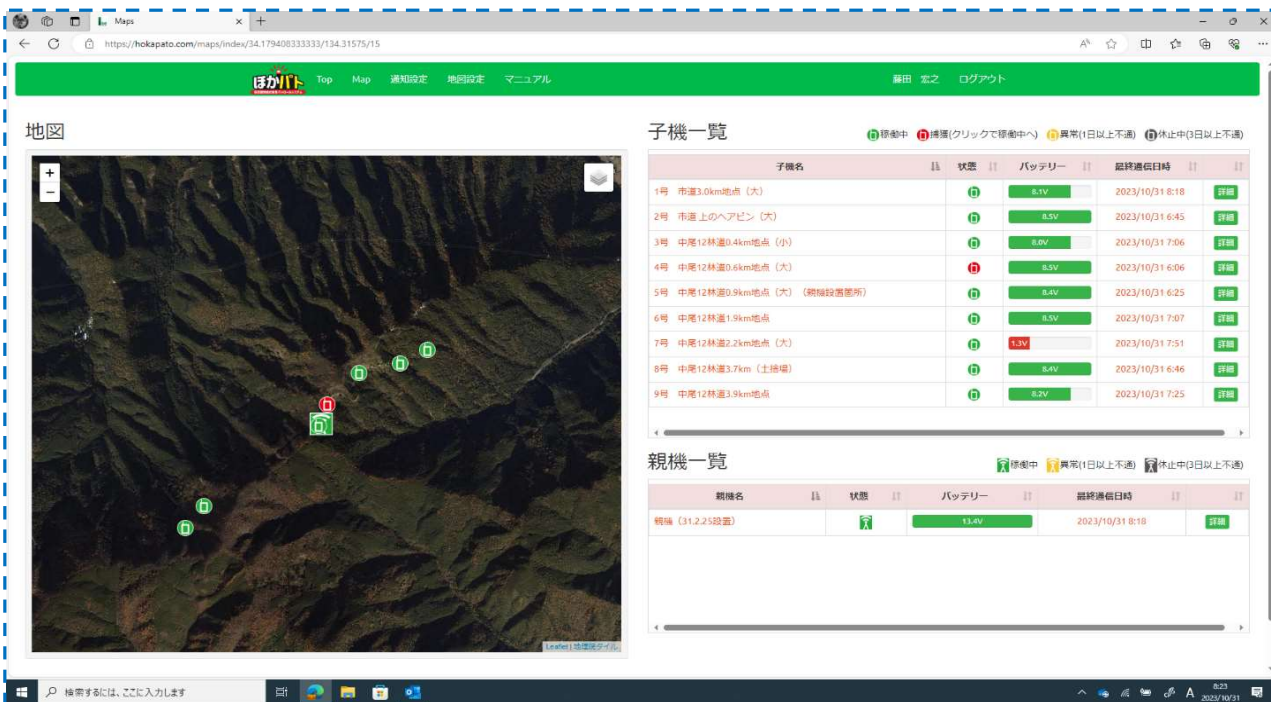
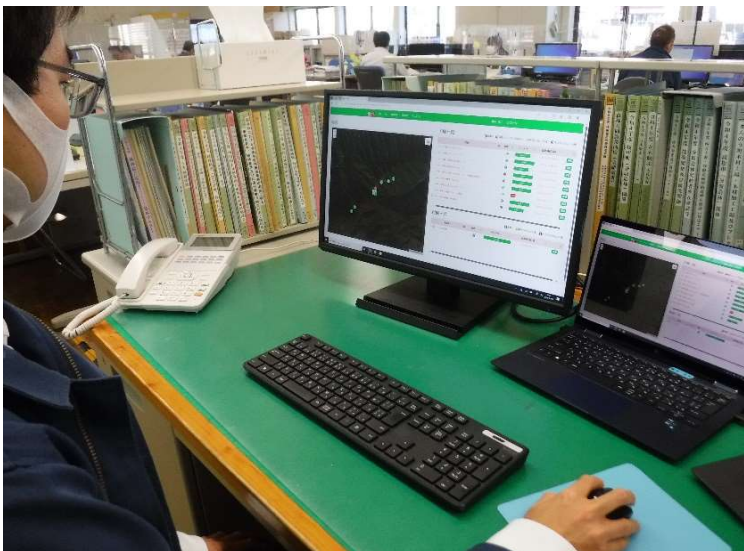


ヘイキューブ（圧縮牧草）

※干し草を角型に成形固形化した草食動物の飼料。

○ ほかパトによる囲いワナの見廻り

林内に設置した基地局（親機）の10km圏内に配置した「ほかパト（子機）」の作動状況が無線（LPWA）を介して担当職員のメールアドレスに通知される。



○ トレイルカメラ（センサーカメラ）による行動監視





国民の森林
国有林